

## 留学報告書

2015年度 Funai Overseas Scholarship 奨学生

田口 厚志

前回の報告書（今年4月）では新型コロナウイルスの感染拡大がアメリカ北東部を中心に深刻化していました。それから約半年経過しましたが、アメリカでは依然として感染収束に向けた道筋が見通せない状況です。今回の報告書ではこうした状況の中で大学がどのように研究活動を再開したか、そして僕が2年目から住んでいる町ブルックラインについてご紹介したいと思います。

## 1. 研究再開までの流れ（ハーバード大学）

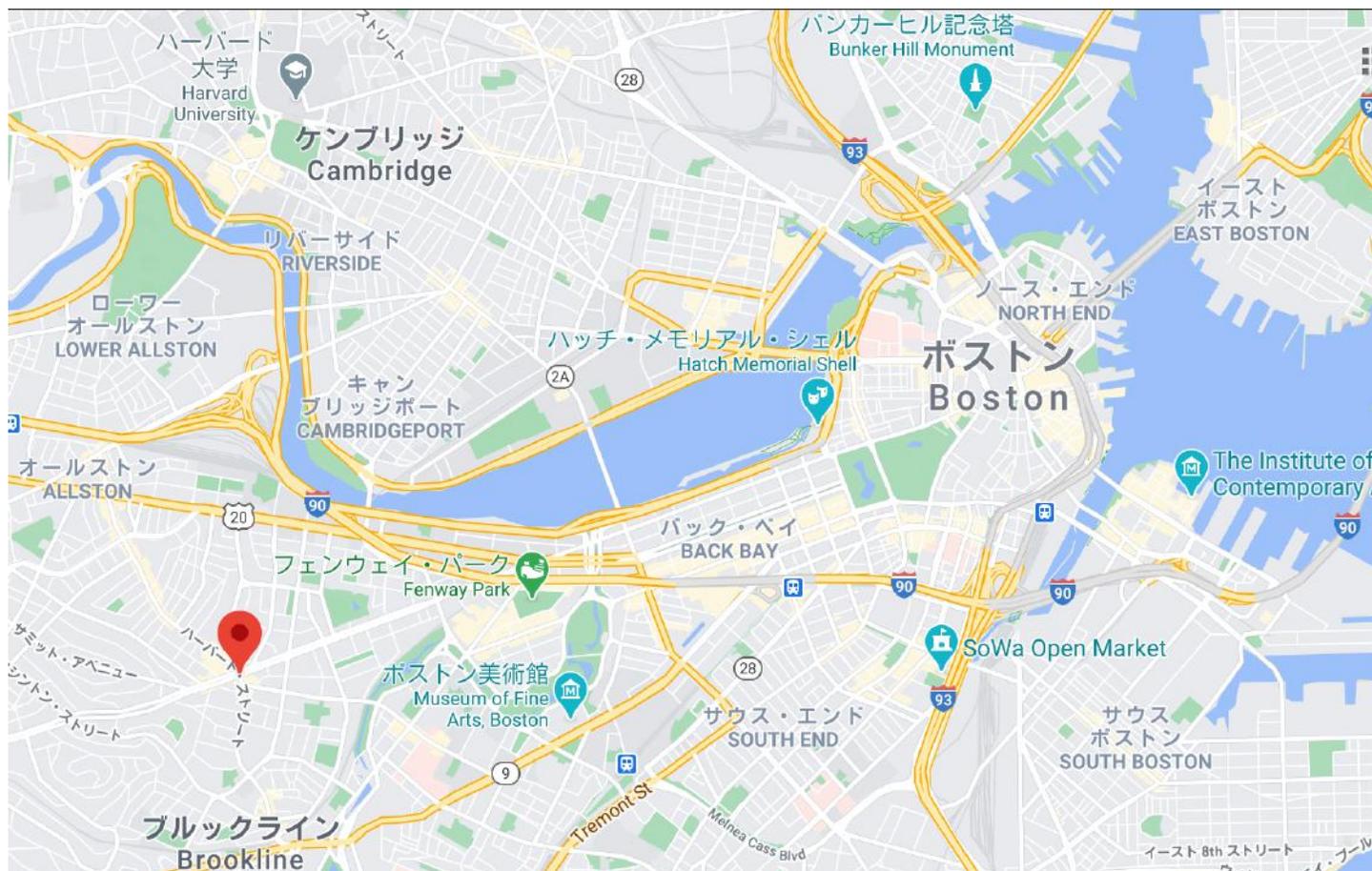
3月中旬から始まった研究の中断は結果的に6月中旬までの3ヶ月間に渡って続けました（コロナウイルス関連のテーマのみ特例で研究が続けられていました）。6月から研究室がある部屋の最大許容人数の25%という人数制限が設けられた上で研究活動が再開されました。僕がいる Walker 研に所属している研究者の数は部屋の最大許容人数のちょうど50%だったので、一週間おきに研究するというシフト制が敷かれました。研究を再開できたのは嬉しかったのですが、生物系の実験は数日に渡って行われる実験が多いので、一週間でやりたいことを全て終わらせることはなかなか大変でした。シフト制は約2ヶ月間続いたのですが、8月から部屋の最大許容人数の50%まで人数制限が緩和されたのに伴い（少なくとも Walker 研では）研究活動もほぼ通常通りに戻りました。

研究活動が再開された当初から行われているのはアプリを使った健康チェックで、毎朝自分の体調について答えることで入構許可が出されます。受付でその許可証を見せることでマスクを無料で貰うことができ、そのマスクを大学構内にいる場合は着用することになります。新学期の始まりに伴いウイルス検査も定期的に行われるようになりました。これは自分でサンプルを綿棒で鼻から採取するPCR検査で、大学院生の場合は一週間に2回行うことが推奨されています。検査の結果は翌日に届くので、もし陽性だった場合は迅速に隔離をすることが可能です。現時点(11/29/20)での直近7日間の陽性率は0.18%と低く収まっているのでこの傾向が続くことを願っています。

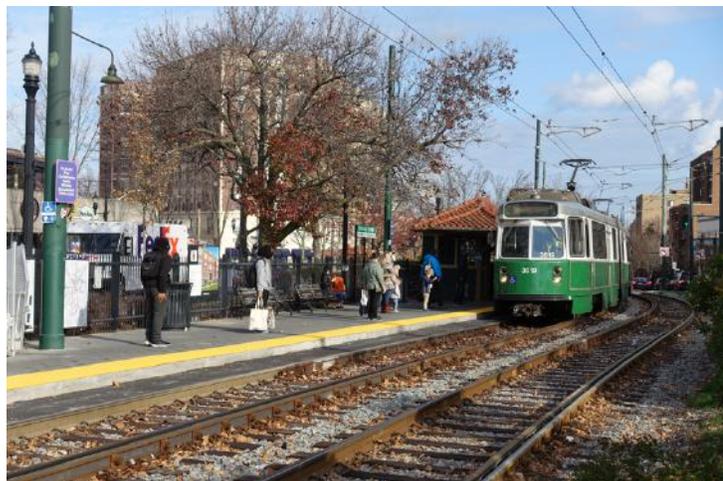
セミナーや研究室ミーティング等は全てオンラインで行われており、今後しばらくはこの状況が続くことが予想されます。個人的にはあまりオンラインのセミナーやミーティングは好きになれないのですが皆さんはどうでしょうか？

## 2. ブルックライン～クーリッジコーナー地区の紹介～

今回ご紹介するクーリッジコーナー地区はボストンの西隣にあるブルックラインでもっとも賑やかな地区です（地図の赤いピン）。ハーバード大学やMITがあるケンブリッジ（地図中心を通るチャールズ川の北側）やボストン中心部（地図でボストンと書かれた地区）からは少し離れていますが、ボストン大学があるオールストン（地図西側）からは比較的近いです。



クーリッジコーナーはハーバードメディカルスクールがあるロングウッド地区（地図上ボストン美術館の左下にある赤い地区）が徒歩圏内、公共交通にもめぐまれています。ボストン中心部にはグリーンラインで約20分、オールストン&ハーバードには66番バスで行くことができます。



グリーンラインの電車@クーリッジコーナー駅



クーリッジコーナーのシンボル S.S. Pierce Building

治安の良さはボストン近郊ではトップクラスで、教育レベルが高いので小さい子供がいる若い家族連れが多く住んでいます。現地スーパーは Trader Joe's が中心地にあり、徒歩圏内に Whole Foods と Stop & Shop があるので基本的に手に入らないものはありません。そして嬉しいことに今年日系スーパーのマルイチがクーリッジコーナーに！薄切り肉や刺身などの生鮮食品のほか惣菜や弁当、日用品までが比較的リーズナブルな値段で手に入ります。自粛期間中は料理をする機会が多かったのですが、生活の質がマルイチのおかげですごく向上しました。



マルイチにはカフェも併設されています



Trader Joe's はいつも買い物客で賑わっています

ボストンで一番オススメのラーメン屋頑固一鉄ラーメンもクーリッジコーナーにあります。アメリカに進出している他のラーメン屋のような変な味付けもなく、コロナ前は実験が終わった後によく通っていました。徒歩圏内には牛角や日系ベーカリーの Japonaise Bakery もあります（ここのチョコレートケーキは絶品です）。

クーリッジコーナーで有名なスポットとしては独立系の Coolidge Corner Theatre（映画館）があります。ここでは大手の映画館ではまず見られないインディーズ映画や海外映画が上映されていたり（「君の名は。」も上映されていました）、映画にちなんだ色々なイベントが開かれたりしています。また同じく独立系の Brookline Booksmith（本屋）は幅広い本のセレクションのほか、カレンダーやギフトの小物などが揃っており、プレゼントに困った時によく行きます（笑）。

表通りはたくさんのお店があり賑やかですが、一步裏道に入ると閑静な住宅街。ケネディ大統領の生家も保存されており、普段は一般公開されています。



とても静かな住宅街が広がっています



JFK の生家

クーリッジコーナー地区は人気も高く、家賃も高めなので学生が住むには複数人でのルームシェアが基本となります。ただ今年にはコロナの影響で賃貸市場にも変化が出ました。僕が現在住んでいるところは普段は B&B として営業しているクーリッジコーナーにあるホテルです。旅行客の減少に伴い今年だけ短期滞在者向けにホテルの部屋が貸し出されています。僕も来年の2月頃の卒業にあわせて契約しました。内装がヴィクトリア調のとてもおしゃれなホテルで掃除も綺麗に行き届いています。来年度からまた B&B に戻るそうなので、ボストンにいらっしゃる機会があればぜひこちらに泊まってクーリッジコーナーを散策してみてもいいのではないでしょうか。



現在お世話になっている Bertram Inn



ホテルのラウンジ